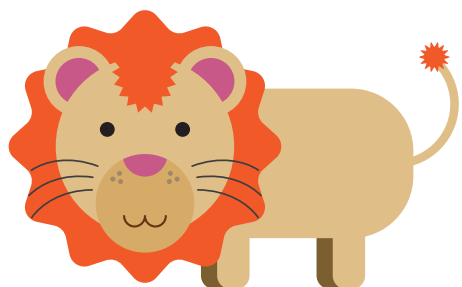


○イラスト制作で便利な機能や覚えておくこと



左のライオンは「**形が決まっている**」場合、描くだけなら5分程度で作れます！

※形はインターネットにあったものを参考にしています。

○イラスト制作

イラスト制作や Web デザインに限らずすべての制作物は、基本的に紙にラフ絵を描くのが好ましいです。

※**絵心は関係なく**、どんな形にするか前もって決めておく事が重要です。

ラフ絵は、実際にイラストレーターを**使う前に描く**という癖をつけると良いです。

最初の内はラフを描いても最終的に全然違うものになりますが、続けてやっていくうちに「ラフ」がないと効率が悪いと感じるようになります。

※白紙のアートボード上で考えながら描いていると無限に時間がかかってしまいます。

このようなイラスト制作物の場合、イラストレーターで描くスピードが上がれば**ラフやアイデア出しに使う時間を増やせる**ので、結果的にクオリティの高いものができるようになります。

○ライオンイラストで使う機能等

●ツール類

楕円形ツール (L)

長方形ツール (M)

ペンツール (P)

リフレクトツール (O)

コピー & 同じ位置にペースト (Command + C でコピー→Command + F で同じ位置にコピー)

スポイトツール (I)



●描画補助機能

ガイド (Command + R でルーラーを表示)

重ね順の変更 (Command + (Shift) + [or])

パスファインダー (ウィンドウ→パスファインダー)

・前面オブジェクトで切り抜き

・合体

グループ化 (Command + G でグループ化、Command + Shift + G でグループ解除)

●その他機能

効果→パスの変形→ギザギザ

分割・拡張 (オブジェクト→分割拡張)・・・線などが分解されて、塗りと線になる。

塗りと線の入替 (Shift + X)

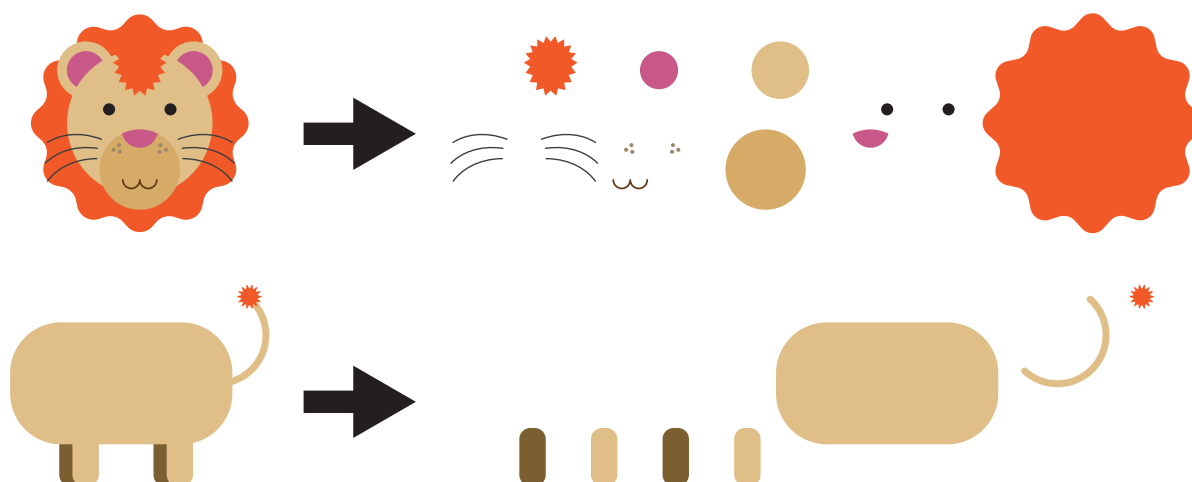
塗りと線のアクティブ状態の切り替え (X)

透明色の設定 (?)

ショートカットキーは覚えると便利ですが、まずは「それぞれがどんな機能をするのか」から理解すると、ショートカットキーも覚えやすいです。

○実はシンプル

左のライオンのイラストを見ると、結構シンプルな形状の集まりであることに気づくと思います。基本的にはほとんど「丸」で作られています。



イラストをバラバラにすると↑の様なパーツに分かれます。

○対称のものは「リフレクトツール」が便利

このイラストに限らず、ロゴやその他イラスト制作物には「対称形状」のものが非常に多いです。その場合、中心になる位置にガイドを置いて、そのガイドを基準に「リフレクトツール」で対称コピーする事で、簡単に正確な位置に反転コピーできます。



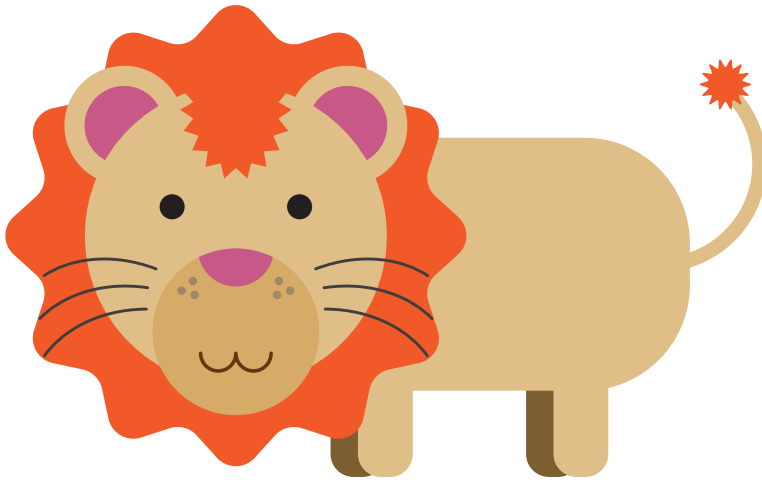
○何回もやるしかない・・・

どんな事でも、他人がやっているのを見ると自分ではできないように感じますが、基本的には全ては「慣れ」です。

先生や実務でやっておられるプロの方たちは、毎日のようにやってるのでパッとやってますが、当然全員最初は初心者です。

初めから理解してすぐできるようにはならないので、同じものを何回も練習したり、色々なものを描くようにして、「回数」を重ねる事で徐々に慣れてきますし、仕組みが分からない機能などもなんとなく理解できるようになってきます。

少し複雑なイラストになると、紙にラフで描いた絵をスキャンしてそれをペンツール等でトレースするという方法が一般的です。



※ライオンの「たてがみ」は、効果→パスの変形→ギザギザを使っています。
また、「アピアランスの分割」を使ってアウトライン化したあとに、角を丸くしています。

※このプリントは「10月開講 初歩から学ぶグラフィック・web デザイナー養成科」
Aさんが、お隣の席のKさんのために、制作したものです。